

## 令和6年度日本魚病学会春季大会のご案内

### 会場ならびに日程

#### 大会会場

東京海洋大学品川キャンパス白鷹館1階 〒108-8477 東京都港区港南 4-5-7

(<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/announcement/access/shinagawa.html>)

#### 大会日程

令和6年3月9日(土)～3月10日(日)

月日	時間	行事	場所
3月9日	8:00～	受付	白鷹館1階ホール
(土)	9:00～12:30	口頭発表	白鷹館1階講義室
	12:30～13:30	令和6年度第1回幹事会	白鷹館2階多目的スペース
	13:00～16:00	ポスター発表	白鷹館1階ホール
	14:00～15:00	令和6年度第1回評議員会	白鷹館2階多目的スペース
	15:00～16:00	令和6年度第1回編集委員会	白鷹館2階多目的スペース
	16:30～18:00	懇親会	大学会館(生協)
3月10日	8:30～	受付	白鷹館1階ホール
(日)	9:00～12:00	口頭発表	白鷹館1階講義室
	13:00～13:30	令和6年度日本魚病学会総会	白鷹館1階講義室
	13:30～14:30	令和5年度日本魚病学会賞受賞者講演	白鷹館1階講義室

#### 会場への交通案内

東京海洋大学ホームページ (<https://www.kaiyodai.ac.jp/overview/announcement/access/shinagawa.html>) のキャンパスガイドをご覧ください。なお、発表会場の白鷹館は正門を入って、40 m 前方左手にございます。

- 1) JR 線・京浜急行線 品川駅港南口(東口)から徒歩約10分
- 2) 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、正門まで徒歩約15分
- 3) りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、正門まで徒歩約20分

**令和5年度日本魚病学会受賞者講演**

**3月10日(日) 13:30~14:30**

**(白鷹館1階講義室)**

**日本魚病学会研究奨励賞**

坂井 貴光 氏 (水産研究・教育機構 水産技術研究所)

「魚介類の新興細菌感染症の診断と防疫に関する研究」

**日本魚病学会研究奨励賞**

一色 正 氏 (三重大学大学院生物資源学研究科)

「海産魚介類のウイルス病における病原体と病理に関する研究」

## 口頭発表プログラム

3月9日(土) 9:00~12:30

(白鷹館1階講義室)

### 座長:倉田 修 (日獣大)

- 9:00 101 アユ魚体内で増殖した *Flavobacterium psychrophilum* のトランスクリプトーム解析  
..... 町田茉優・北澤 遥 (海洋大) ・鈴木究真・阿久津崇 (群馬水試) ・  
佐野元彦・加藤豪司 (海洋大)
- 9:15 102 継代培養条件下およびアユ魚体内条件下における *Flavobacterium psychrophilum*  
の発現タンパク質の比較  
..... °北澤 遥・阿久津崇・塩澤佳奈子・鈴木究真 (群馬水試) ・  
中易千早 (水産研究・教育機構) ・佐野元彦・加藤豪司 (海洋大)
- 9:30 103 アユ異型細胞性鰓病 (ACGD) に対するワクチン開発の試み  
..... °馬場俊太郎・古山朋樹・小松大樹・高野康典 (海洋大) ・  
森 竜也・高木優也 (栃木水試) ・和田新平 (日本獣医大) ・  
加藤豪司・佐野元彦 (海洋大)
- 9:45 104 The attenuation mechanism of live attenuated vaccine P7-P8 against cyprinid herpesvirus 2  
infection potentially involving apoptosis of the infected cells and Th1 responses in fish  
..... °Hiroaki Saito・Hidehiro Kondo・Samuel Mwakisha Mwamburi (TUMSAT) ・  
Shungo Minami (Saitama Fisheries Research Institute) ・Manami Yuguchi (Aichi  
Fisheries Research Institute) ・Aiko Shitara・Goshi Kato・Motohiko Sano (TUMSAT)

### 座長: 杉本 智軌 (九大院農)

- 10:00 105 ギンブナ移植実験系における抗原特異的ドナー細胞の定着  
..... °億 大智・上原 怜・武田真治・舟木 芳・  
金子絢音・片倉文彦・森友忠昭 (日大獣医)
- 10:15 106 ギンブナ T 細胞による抗原特異的なサイトカイン産生  
..... °武田真治・上原 怜・億 大智・金子絢音・  
舟木 芳・片倉文彦・森友忠昭 (日大獣医)

10:30 107 ブリの成長に伴う IgM 抗体産生量の動態解析  
……………°松浦雄太・吉野友晃・嶋原佳子・高野倫一・松山知正（水産機構水技研）

10:45 108 *Edwardsiella piscicida* 菌体由来ゲノム DNA によるサイトカイン誘導活性の評価  
……………°紺野永真・野崎玲子・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕（海洋大）

**座長:米加田 徹（岡山理大獣）**

11:00 109 ヒラメ稚魚の滑走細菌症に対するフェージ浸漬の治療効果  
……………°石丸克也（近畿大）・楠本晃子（中国学園大）・中井敏博（広島大）

11:15 110 クルマエビ類病原性 *Vibrio harveyi* に対する拮抗細菌の微小液滴を用いた高速スクリーニング法の開発  
……………°湯浅 壱・小西佳代・古川美穂・野崎玲子・小祝敬一郎・近藤秀裕・廣野育生（海洋大）

11:30 111 虫卵を摂食する魚類を用いたハダムシ防除効果の検討  
……………°富田雄貴・白樫 正・服部亘宏（近大水研）・小川和夫（目黒寄生虫館）

**座長:田角 聡志（鹿大水）**

11:45 112 *Cyprinid herpesvirus 1* に感染したコイ (*Cyprinus carpio*) におけるゲノム量の推移と体表腫瘍におけるトランスクリプトーム  
……………°永田 淳・多喜田克己・笠井久会（北大院水）

12:00 113 種苗生産施設内のクロアワビにおける *Abalone asfa-like virus* 感染動向調査  
……………°永瀬 航（東大院農）・相川英明（神奈川水技セ）・鈴木将幸・原田幸二・今井利爲（神奈川県栽培漁業協会）・渡邊勇歩・伊藤直樹（東大院農）

12:15 114 日本の水産動物における新興感染症発生の特徴  
……………°良永知義（東大院農）

13:00

**ポスター発表**

**（白鷹館 1 階ホール）**

3月10日(日) 9:00~12:00

(白鷹館1階講義室)

**座長:加藤 豪司 (海洋大)**

- 9:00 201 養殖海域の天然魚がマダイイリドウイルス病流行の感染源となっている可能性は低い  
……………°河東康彦・高田優三・伊東尚史 (水産機構水技研) ・水野かおり・  
原川翔伍・川上秀昌 (愛媛水研セ) ・吉原勇作 (愛南町水産課)
- 9:15 202 マダイイリドウイルス病発生時に死魚を扱った養殖資機材は高濃度に汚染されている  
……………°河東康彦・高田優三・松山知正 (水産機構水技研) ・  
本領智記・白樫 正・升間主計 (近大水研)
- 9:30 203 コイ浮腫症ウイルス (CEV) の飼育水中における生存性  
……………°小林健一郎・角川響子・的山央人 (新潟内水試)
- 9:45 204 琵琶湖で採捕されたアユにおける異型細胞性鰓病原因ウイルスの保有状況と本病に対する感受性  
……………°菅原和宏 (滋賀水試)

**座長:安本 信哉 (水大校)**

- 10:00 205 自然感染経路を模したブリに対する *Lactococcus formosensis* 感染症の人為感染手法の検討  
……………°中川徹優・河東康彦・高田優三・伊東尚史 (水産機構水技研)
- 10:15 206 新興レンサ球菌症の原因細菌である *Lactococcus garvieae* III 型 (III 型レンサ球菌) の疫学的研究  
……………°荒木香帆 (宮崎大院農工) ・西木一生・吉田照豊 (宮崎大農)
- 10:30 207 国内から分離された *Lactococcus petauri* の海産魚に対する病原性およびワクチン効果  
……………°吉野友晃・嶋原佳子・森本和月・中川徹優・高野倫一 (水産機構水技研) ・  
原川翔伍 (愛媛水研) ・福田 穰 (大分水研) ・松山知正 (水産機構水技研)

10:45 208 *Vibrio harveyi* の感染実験でカワハギに見られた病変  
.....°河田悠太郎・泉庄太郎（東海大）

**座長:梅田 剛佑（水産機構水技研）**

11:00 209 マダイのメラノマクロファージセンターから見つかった粘液胞子虫  
.....°中村 修・長塚亮子・武 朋悠・一岡優吾・筒井繁行（北里大・海洋）

11:15 210 野生のメダカから検出された粘液胞子虫  
.....°河野カリナみどり・櫻井 優・柳田哲矢（山口大院共獣）

11:30 211 吸虫性旋回病原原因寄生虫 *Galactosomum* sp. の第 1 中間宿主の特定  
..... °杉原志貴・岩崎亮磨（長崎水試）・宮崎悠暉（長崎県庁）・  
小川和夫・高野剛史（目黒寄生虫館）・白樫 正（近大水研）・  
伊藤直樹（東大院農）・中野智之（京大フィールド研）

11:45 212 和歌山県で分離した海産白点虫 3 株の遺伝子配列と性質の比較  
.....°松岡大海・小竹真帆（東大院農）・本領智記・白樫 正（近大水研）・  
良永知義・伊藤直樹・渡邊勇歩（東大院農）

## ポスター発表プログラム

3月9日(土) 13:00~16:00

(白鷹館1階ホール)

- 301 Carp edema virus を人為感染させたニシキゴイの飼育水中に含まれるウイルス  
コピー数の推移  
.....°石橋成豊・近藤昌和・安本信哉 (水大校)
- 302 北海道河川遡上サクラマス親魚のウイルス保有状況(2011-2023年)  
.....°川名守彦 (水産機構資源研) ・大迫典久 (水産機構水技研)
- 303 アマゴ魚体内における微孢子虫 *Inodosporus fujiokai* の挙動について  
.....°米加田 徹・秋元勇毅・安東秀容・横山 博 (岡山理大獣) ・菅原和宏・  
山本充孝 (滋賀水試) ・木南竜平・白樫 正 (近大水研) ・柳田哲矢 (山口大共獣)
- 304 環境 DNA による河川における *Flavobacterium psychrophilum* (A 型, B 型) の動態研究  
.....°井上 僚 (島しょセ)
- 305 国内で初めて分離された養殖スギ由来 *Lactococcus garvieae* III 型の病原性  
.....°松本紗奈・Kittipong Thanasaksiri・福田耕平 (共立製薬株式会社)
- 306  $\alpha$  溶血性レンサ球菌症に対するワクチンの追加免疫の有効性  
.....°嶋原佳子・前田知己・中川徹優・栗田 潤・佐藤 純・梅田剛佑・  
吉野友晃・松山知正・松浦雄太・高野倫一・高田優三・嶋田幸典・  
山本一毅・泉田大介・菅谷琢磨 (水産機構水技研)
- 307 Comparative genomics of *Edwardsiella piscicida* isolated from diseased Japanese flounder  
(*Paralichthys olivaceus*) in 2023  
.....°Theeyathart Homsombat (海洋大)・Keisuke Yoshii・  
Fuyuka Murotani・Tomoyuki Hara・Yutaka Fukuda (大分水研)・  
Keiichiro Koiwai・Ikuo Hirono・Hidehiro Kondo (海洋大)
- 308 博多湾和白干潟産アサリに寄生する新規繊毛虫類の感染率と局在性  
.....°高嶺菜々子 (福岡女子大) ・生田哲朗 (JAMSTEC) ・  
松尾亮太 (福岡女子大) ・瀧下清貴 (福岡女子大)

- 309** 四万十川アユにおける *Cucullanidae* 科線虫の疫学調査  
 ……………°川原実結（高知大院農林海洋）・重村鴻志・野島 潮・  
 野根慎平（高知大農林海洋）・今城雅之（高知大院農林海洋）
- 310** *Perkinsus olseni* の発育ステージの変化における遺伝子発現解析  
 ……………°前田和輝・良永知義・渡邊勇歩・伊藤直樹（東大院農）
- 311** クロマグロ人工種苗に見られたウオノエ類  
 ……………°梅田剛佑・新田理人・高野倫一・久門一紀・江場岳史・松山知正（水産機構水技研）
- 312** 大腸菌ホルマリン死菌を接種したサケ科魚類6魚種間の比較トランスクリプトーム解析  
 ……………°森本和月・梅田剛佑・吉野友晃・高野倫一・松山知正（水産機構水技研）
- 313** RSIV 感染魚における顆粒球関連遺伝子群の発現  
 ……………°吉村和真・Chalermkwan Eurlaphan（海洋大）・原川翔伍（愛媛水研セ）・  
 佐野元彦・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕（海洋大）
- 314** ギンブナの抗原特異なサイトカイン産生を指標としたアジュバントの評価  
 ……………°金子絢音・舟木 芳・武田真治・億 大智・上原 怜・片倉文彦・森友忠昭（日大獣医）
- 315** コドン最適化によるヒラメ IFN- $\gamma$  組換えタンパク質の大量生産  
 ……………°宮田陽太・野崎玲子・小祝敬一郎・廣野育生・近藤秀裕（海洋大）
- 316** 菌叢解析データを活用したニジマス表皮プロバイオティクスの選別  
 ……………伊藤海児（名古屋大）・荒川友子（Lala Product）・  
 岡崎文美（三重大）・°中谷 肇（名古屋大）
- 317** 塩酸オキシテトラサイクリン経口投与のニジマスラッシュ治療効果  
 ……………°高野倫一（水産機構水技研）・瀧川智人・中村永介（静岡水技研）・  
 松山知正・伊東尚史（水産機構水技研）
- 318** パナメイエビにおける有用微生物とその生産物の経口投与が生体防御に及ぼす影響  
 に関する研究  
 ……………°中野陽南・小西佳代・野崎玲子・古川美穂・  
 小祝敬一郎・近藤秀裕・廣野育生（海洋大）

- 319** パナメイエビにおける *Rhodovulum algae* 投与によるホワイトスポット病防除効果に関する研究  
.....<sup>o</sup>照屋竜大・伊藤 開・小祝敬一郎・近藤秀裕・廣野育生 (海洋大)
- 320** Preventing parasitic infections caused by *Ichthyophthirius multifiliis*: A novel approach with a single-chain variable fragment (scFv)-conjugated affinity silk filter device  
.....<sup>o</sup>Harsha Prakash (Kyushu University)・Mitsuru Sato・Katsura Kojima・  
Chisato Sakuma (National Agriculture and Food Research Organization)・  
Akhil Kizhakkumpat・Takahiro Nagasawa・Miki Nakao・Tomonori Somamoto (Kyushu University)